

鹽竈十福

奉祝 天皇陛下御即位三十年



黒漆五枚胴具足(伝伊達綱村公所用)

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号
志波彦神社
鹽竈神社 社務所
電話 〇二二三六七-一六一(代)
FAX 〇二二三六五-五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>



歴代の仙台藩主は、領内の秩序と繁栄を「しおがまさま」に祈願してきた。とりわけ四代伊達綱村公は信心篤く、「鹽竈神社縁起」を纏め、それまで明確でなかった御祭神を三柱と定めて三本殿を造営、これが現社殿である。さらには、年貢の免除や生活費の補助、商売用荷物船・材木船を入港させる等の特令を以て、塩竈の長期振興策を実施。これも神社護持のためであった。塩竈の人々にとつて綱村公は大恩人である。その三百年遠忌にあたる今年、祭務所前に顕彰碑が建立される。評論家小林秀雄の「伝統は見付け出し信じる」に照らせば、綱村公が見付けた伝統は、塩竈の町の繁栄なくしては「しおがまさま」の神威による地域の安寧は叶わないとの信であった。顕彰碑の建立は、綱村公への敬意の表象として伝統を自覚し信じる人々の発意によるものである。誠に、日本の美風を思わせてうるわしい。日毎年毎に繰り返され積み重ねられてゆく祭祀が涵養する精神的基盤あつてこそその美風であり伝統であることは申すまでもない。

平成の大御世三十年目にあたり

天皇陛下の御即位三十年にあたり、前号に続き御足跡を御製やお言葉で拝します。

〈第三回〉

平成二十一年より

平成二十一年

十一月十二日

天皇陛下御在位二十年
記念式典(於国立劇場)

御製

日の暮れし 広場に集ふ
人と聞く
心に染むる「太陽の国」

お言葉

「(前略)平成二年の即位礼の日は、穏やかな天候に恵まれ、式後、赤坂御所に戻るころ、午後の日差しが、国会議事堂を美しく茜色に染めていた光景を思い出します。あの日沿道で受けた国民の祝福は、この長い年月、常に私どもの支えでした。即位二十年に当たり、これまで多くの人々から寄せられた様々な善意を顧み、改めて自分の在り方と務めに思いを致します。(後略)」

平成二十二年

十月七日〜十日

を心より願っています。」

平成二十四年

二月十八日

ご手術

御製

手術せし 我が身を案じ
記帳せる あまたの人の
心うれしき

研究を 重ねかさねて
復原せし 大極殿

いま目の前に立つ

平成二十三年

三月十一日

東日本大震災発生

御製

黒き水 うねり広がり
進み行く 仙台平野を
いたみつつ見る

三月十六日

お言葉

「(前略)被災者のこれからの苦難の日々を、私たち皆が、様々な形で少しでも多く分かち合っていくことが大切であろうと思います。被災した人々が決して希望を捨てることなく、身体を大切に明日からの日々を生き抜いてくれるよう、また、国民一人ひとりが、被災した各地域の上にこれから長く心を寄せ、被災者と共にそれぞれの地域の復興の道を見守り続けていくこと

平成二十六年

三月二十六日

神宮参拝

御製

あまたなる 人らの支へ
思ひつつ 白木の牙ゆる
新宮に詣づ

七月二十二日〜二十四日

東日本大震災復興状況及び
地方事情ご視察のため宮城
県に行幸啓

平成二十七年

三月十三日〜十五日

第三回国連防災世界会議開
会式ご臨席併せて東日本大
震災復興状況ご視察のため
宮城県に行幸啓

御製

新嘗祭近く

この年も あがたあがたの
田の実り もたらさるるを
うれしく受くる

平成二十八年

三月十六日〜十八日

東日本大震災復興状況ご視
察のため福島県及び宮城県
に行幸啓

御製

八月八日

象徴としてのお務めについて
お言葉

「(前略)私が天皇の位についてから、ほぼ二八年、この間は、我が国における多くの喜びの時、また悲しみの時を、人々と共に過ごして来ました。私はこれまで天皇の務めとして、何よりもまず国民の安寧と幸せを祈ることを大切に考えて来ました。同時に事にあたっては、時として人々の傍らに立ち、その声に耳を傾け、思いに寄り添うことも大切なことと考へて来ました。(中略)これからは皇室がどのような時にも国民と共にあり、相たずさえてこの国の未来を築いていけるよう、そして象徴天皇の務めが常に途切れることなく、安定的に続いていくことをひとえに念じ、ここに私の気持ちを話しました。」

九月二十八日〜十月二日

第七十一回国民体育大会ご
臨場併せて東日本大震災復
興状況御視察のため岩手県
に行幸啓

御製

大いなる 災害受けし
岩手県に
人ら集ひて 国体開く



平成二十九年
十月二十七日〜三十日

九州北部豪雨による被災地
お見舞引き続き第三十七回
全国豊かな海づくり大会ご
臨席併せて地方事情ご視察
のため福岡県及び大分県に
行幸啓

御製
くろあはび あさりの稚貝
手渡しぬ
漁る人の上 思ひつつ

平成三十年
一月十二日

歌会始

御製

語りつつ あしたの苑を
歩み行けば 林の中に

きんらんの咲く

天皇陛下御即位三十年

記念事業

天皇陛下御即位三十年の節
目にあたり、当社ではこの佳
節を記念し、併せて奉祝と天
皇陛下への感謝の誠を捧げ、
御皇室の尊さを新たな御世へ
伝えるため、境内の参道に「手
すり」の設置と一部舗装工事
を左記の要項で実施すること
となりました。皆様の御理解
と御協力をお願い申し上げます。

■協力金 一口 金伍阡円
(何口でも申込可)

■「手すり」設置箇所

志波彦神社大鳥居石段

東神門下石段

東参道(裏坂)石段他

■「舗装」工事箇所

神籠社前

第一駐車場からの参道他

■お申込みお問い合わせ

志波彦神社
鹽竈神社社務所

〇二二一三六七七一六一一

奉賛者御芳名

(敬称略・金額お申込み順)
平成三十年八月三十一日まで

金壹百萬圓也
福島県郡山市

(宗) みるく愛光会
主宰 渡辺 剛

金伍拾萬圓也
宮城県利府町

(株)阿部電工
代表取締役 阿部 剛典

金参拾萬圓也
塩竈市本町 今野 昌子

金壹拾萬圓也
塩竈市中の島

(株)阿部善商店
代表取締役社長 阿部 善久

塩竈市海岸通 佐藤 文吉

塩竈市新富町 (株)清野工務店
取締役会長 清野 薫

塩竈市北浜 東陽防火設備(株)
代表取締役 花淵 豊

金伍萬圓也
愛知県名古屋市中区 齋藤専商店

タイホウグループ
小野 久子

塩竈市新浜町 (株)渡會
代表取締役 渡會 和弘

塩竈市貞山通
ヤットハチ鈴木水産(株)

塩竈市北浜 鈴木 彰

多賀城市下馬 和田 忠

仙台市若林区 楠 百合子

(有)阿部長鉄工所
代表取締役 阿部 長藏

塩竈市海岸通 レストラン・シェヌー

岩手県釜石市 菅原 勲

塩竈市本町 赤間 善久

(有)松野 松野 仁

塩竈市松陽台 嶋 八夫

東京都杉並区 尾崎 裕泰

塩竈市貞山通 ヤットハチ鈴木水産(株)

代表取締役 鈴木 信彦

塩竈市北浜 和田電気工事(株)

代表取締役 笹原 忍

金参萬圓也
塩竈市袖野田町 (株)ごんきや

代表取締役 佐藤仁一郎

塩竈市北浜 東北ドック鉄工(株)

代表取締役社長 小野 修幸

塩竈市新浜町 三波食品(株)

代表取締役 内海 勝男

塩竈市佐浦町 鈴木 一也

仙台市青葉区 丸森 仲吾

塩竈市新浜町 ダイイチ津田 津田 武

塩竈市北浜 佐藤 義雄

仙台市青葉区 (株)白松がモナカ本舗
代表取締役社長 白松 一郎

塩竈市花立町 佐藤 多一

仙台市泉区 東北グライダー(株)
代表取締役 石井 浩一

塩竈市楓町 千葉 志朗

仙台市宮城野区 佐々木 博

多賀城市桜木 松下 真史

仙台市泉区 小林 正芳

宮城郡七ヶ浜町 阿部 松治

塩竈市宮町 鍵 久美子

塩竈市尾島町 キクニ(株)
代表取締役 桑原 茂

金貳萬圓也
塩竈市南町 (株)八百大
塩竈市白菊町 佐藤 幸司

東京都港区 日塩(株)
代表取締役社長 吉武 義憲

塩竈市新富町 船山 嘉明

塩竈市みのが丘 達雄・せつ子
 菊地 伊勢 修夫
 塩竈市舟入 伊勢 修夫
 東京都荒川区
 小堺 徹一
 仙台市太白区 千葉 文夫
 宮城郡七ヶ浜町 金澤 龍夫
 金吉萬伍阡圓也
 福島県福島市 坂本 信雄
 金吉萬圓也
 仙台市宮城野区
 代表取締役会長 山内 英房
 塩竈市新浜町 佐藤 明彦
 代表取締役 青沼 信
 仙台市青葉区 遠藤 喜久
 塩竈市新浜町 白井海運(株)
 仙台市青葉区 相原園
 仙台市宮城野区 代表取締役 安室 敬司
 塩竈市栄町 土井 儀憲
 土井建築設計事務所
 塩竈市南町 渡邊多喜子
 渡邊米穀店
 塩竈市新浜町 代表取締役 相澤 正利
 (株)アイザワ
 塩竈市尾島町 鈴木 嘉仁
 (株)工陽社 代表取締役社長

塩竈市新浜町 協同組合連合会塩釜水産物
 仲卸市場 阿部 秋雄
 理事長
 仙台市泉区 A.L.S.O.K宮城(株)
 塩竈市松陽台 (株)カネサ佐藤工務店
 塩竈市新浜町 塩釜市魚市場問屋協同組合
 理事長 玉澤 文男
 塩竈市南町 漢方の塩釜芍薬堂
 佐藤 一臣
 仙台市青葉区 及川 豊彦
 仙台市泉区 福村仁一郎
 塩竈市東玉川町 (株)ヤマギシ洋菓子店
 山岸 輝男
 塩竈市楓町 宮内 忠
 塩竈市本町 相原 功
 塩竈市舟入 我妻 豊
 塩竈市舟入 佐藤 正芳
 塩竈市字伊保石 星 美枝子
 多賀城市伝上山 阿部 幸男
 塩竈市藤倉 (株)シマムラ
 代表取締役 嶋村 宗将
 塩竈市後柴町 高橋 竹仙
 塩竈市藤倉 (株)吉本商店
 取締役 關 弘明
 多賀城市下馬 大石 由史
 塩竈市尾島町 (株)三ツ扇
 代表取締役 志賀 直哉

大阪府大阪市 鈴木 昭男
 多賀城市浮島 村上 澄子
 塩竈市玉川 菅野 新治
 塩竈市石堂 文屋 清一
 塩竈市野田 鈴木 和郎
 東京都新宿区 海の精(株)
 塩竈市藤倉 高橋 憲治
 富谷市富ヶ丘 齋藤 忠
 仙台市青葉区 佐藤 友子
 塩竈市舟入 須田義太郎
 塩竈市玉川 中村好次郎
 塩竈市佐浦町 鈴木 敏男
 塩竈市松陽台
 塩竈市菊花会 星 定信
 会長
 塩竈市千賀の台 郷石近長助
 塩竈市大日向町 千田 とし
 塩竈市芦畔町 佐藤 三郎
 名取市美田園 中澤 穰
 塩竈市東玉川町 鈴木さだ子
 塩竈市長沢町 本多 凌一
 塩竈市舟入 佐藤かつみ
 塩竈市石堂 外田 和子
 塩竈市利府町 佐子 文則
 宮城郡利府町 不老 安正
 福岡県太宰府市 登米市貞山通 佐藤 政子
 塩竈市貞山通 岩手県上閉伊郡 岡田 昌夫
 塩竈市小松崎 川崎 正一
 東京都文京区 阿部 一夫
 石巻市長沢町 砂口 強
 塩竈市長沢町 尾崎 義美
 東京都東和赤岩 尾崎 義美
 塩竈市新浜町 小野寺 滋
 (株)丸健渡辺水産 代表取締役 青野 勝夫

金伍阡圓也
 塩竈市貞山通 宮城マリンサービス(株)
 代表取締役 太田喜一郎
 兵庫県明石市 堀江 初音
 塩竈市港町 稲葉 茂
 (株)いな長
 塩竈市尾島町 キタヤ餅店
 宮城郡七ヶ浜町 (株)マルシヤンオート
 永野 哲雄
 塩竈市宮町 杉山 善吉
 東京都港区 日本ソルトサービス(株)
 代表取締役社長 吉田 隆
 仙台市宮城野区 阿部 浩明
 塩竈市藤倉 杉山 鶴二
 埼玉県川越市 西村 有繪
 塩竈市芦畔町 佐藤今朝吉
 塩竈市南錦町 中野 富子
 塩竈市南町 佐藤 静枝
 極東園 嶋 俊
 塩竈市松陽台 泉田 泰正
 仙台市太白区 番場 裕之
 千葉県松戸市 登米市米山町 佐藤 千枝
 塩竈市藤倉 小野みき子
 塩竈市南町 高橋 一夫
 塩竈市佐浦町 郷古他美子
 塩竈市小松崎 須藤 秀則
 塩竈市権現堂 高橋 秀昭
 塩竈市錦町 文屋 光一
 塩竈市向ヶ丘 佐藤 健一
 塩竈市野田 菅野 勇造
 塩竈市梅の宮 平間 眞一

塩竈市小松崎 嶺岸 定男
 塩竈市越ノ浦 嶋 勉
 塩竈市南町 大浦 満
 塩竈市袖野田町 菅野 進
 塩竈市南町 小金澤美代
 塩竈市野田 鈴木 康夫
 仙台市若林区 東邦銅鐵(株)
 代表取締役 庄子 伸弥
 塩竈市赤坂 佐藤 直
 塩竈市玉川 鈴木 樹洲
 塩竈市白菊町 高橋忠一郎
 塩竈市赤坂 米倉 和子
 塩竈市玉川 遠藤 廣
 塩竈市浦戸 鈴木 虎男
 塩竈市越ノ浦 鈴木 勝男
 塩竈市泉沢町 櫻井 光子
 塩竈市舟入 佐藤 哲夫
 塩竈市尾島町 丹治 道彦
 塩竈市花立町 佐久間俊郎
 塩竈市松陽台 伊藤 昇
 塩竈市芦畔町 横江 孝徳
 塩竈市小松崎 武田 喜徳
 神奈川県川崎市 沼田フミ子
 塩竈市香津町 大友 寛之
 塩竈市石堂 高橋 正巳
 塩竈市梅の宮 根来 きよ
 塩竈市一森山 三浦 義子
 塩竈市新富町 本田 栄子
 塩竈市権現堂 八巻 克久
 塩竈市石堂 八木ゆみ子
 大崎市古川塚目 玉野 純一
 塩竈市東玉川町 武田たつの
 東京都目黒区 大江 裕子
 岩手県上閉伊郡 倉本門太郎
 塩竈市花立町 色川 義彦

気仙沼市和野 川村 祐二
 塩竈市長沢町 阿部 艶子
 塩竈市宮町 鈴木 康雄
 大阪府大東市 田村 光好
 埼玉県さいたま市 駒橋 真弓

岩手県盛岡市 佐藤 輝彦
 岩手県上閉伊郡 笹谷 孝善
 塩竈市杉の入 三束 彰
 東京都中央区 番場 智之
 福島県いわき市 岡 光明
 埼玉県草加市 瀧澤 芳子
 仙台市太白区 千葉 玲鏡
 福島県いわき市 小川美代子
 塩竈市松陽台 星 定信
 神奈川県川崎市 沼田 健治
 神奈川県川崎市 沼田 英治

初穂曳奉仕者募集

ただいま鹽竈神社奉仕会
 (小島邦雄副理事長)では、
 老若男女を問わず「初穂
 曳」の奉仕者を募集してい
 ます。

参加費は無料、皆様お誘
 い合せのうえ、ぜひご参加
 ください。
 お申込み・お問合せは社
 務所までお願いします。

新嘗祭(産業振興大祭)十一月二十三日

来る十一月二十三日(金)
 新嘗祭(産業振興大祭)が齋
 行されます。

新嘗祭は、大神様のめぐみ
 によって得られた一年の収穫
 を感謝する祭りです。

この日、宮中では天皇陛下
 自ら新穀を神嘉殿に奉られ、
 また、全国各地の神社でも神
 事が齋行されます。

当社では御神田において去
 る五月十二日に御田植え、九
 月十五日には抜穂祭を齋行し、
 稲穂を刈り取りました。

この稲穂をはじめ、鮮魚・
 蒲鉾・清酒・水産加工品・野
 菜・果実・菓子など多くの方々
 より奉納された塩竈の地場産
 品の数々が、「初穂曳」により



初穂曳



抜穂祭

市内を奉曳されたのち、御兩
 社の御神前に奉獻されます。
 特に農耕と殖産の守護神・志
 波彦神社では、神楽「朝日子
 舞」が奉奏され大神様に収穫
 の感謝の誠が捧げられます。

楽太鼓奉納

去る七月二十四日、(株)CO
 C.O. (仙台市青葉区) 代表
 取締役川上浩氏より奉納され
 た楽太鼓の奉納奉告祭が鹽竈
 神社別宮において齋行されま
 した。



奉納の楽太鼓

裏千家献茶祭

十月五日(金)、「茶道裏千家
 淡交会宮城支部」(藤崎三郎助
 支部長)主催による献茶祭が鹽
 竈神社左右宮において齋行され
 ます。

この献茶祭は昭和五年に始ま
 り、毎年恒例のものとなってい
 ます。当日は、裏千家家元名代・
 千敬史氏のお手前で濃茶・薄茶
 が点てられ、御神前にお供えさ
 れます。

祭典後は社務所全館で茶会が
 催され、多くの門人が茶の湯を
 通じて交流を深めます。



別宮拜殿にて

塩竈市戦没者遺族会 慰霊祭

九月四日、塩竈市戦没者遺族
 会主催の慰霊祭が当社大講堂に
 おいて齋行されました。

宮城県知事をはじめ、塩竈市
 長、塩竈市議会議長、県連合遺
 族会会長のほか、六十名が参列
 し、祭壇両脇には遺族会副会長
 川辺浩一・丹野洋子両氏の手に
 よる月見ヶ丘慰霊塔の英霊名簿
 の拓本が掲げられました。また
 会場の大講堂には慰霊塔の碑文
 の拓本も掲げられました。

祭典では、神楽「浦安の舞」
 が奉奏され、日清・日露戦争よ
 り大東亜戦争までの塩竈市戦没
 者千五百五十四柱の御英霊に追悼
 の誠を捧げました。



大講堂における慰霊祭

志波彦神社遷座記念祭
並びに氏子崇敬会秋季大祭

九月二十九日、志波彦神社遷座記念祭並びに氏子崇敬会秋季大祭が斎行されました。

志波彦神社は、「延喜式」神名帳に名神大社として記された古社で、かつては岩切村(仙台市宮城野区岩切)に鎮座して朝野から崇敬を集めました。

明治四年に国幣中社に列格、明治七年に鹽竈神社別宮へ合祀され、昭和十三年に国費により御社殿の造営がなされました。

今年(平成30年)は御社殿の造営より八十年の節目にあたり、三十日に奉祝行事として拝殿前の特設舞台において神楽「悠久の舞」「浦安の舞」、舞楽「抜頭」(右方)の記念演奏が行われ境内が賑わいました。



竣工当時の志波彦神社

講社だより

塩竈千人講講社祭

六月二十四日、塩竈千人講講社祭が鹽竈神社左右宮において佐藤今朝吉講長以下二名参列のもと斎行されました。

本年は左記の方々(永年勤続表彰を受けられました)の御芳名を御紹介いたします。

また、退任される世話人へ感謝状が贈呈され、新任の世話人に委嘱状が交付されましたので、併せて御紹介いたします。(敬称略)

- 平成三十年年度継続講員表彰者
- ◇六十年表彰 相澤 和雄
- ◇五十年表彰 我妻 守節
- ◇三十年表彰 佐藤 三郎 早坂 良子
- ◇二十年表彰 佐藤ふじ子 相澤 民子
- 菅原 知子 赤間 孝
- ◇十年表彰 佐藤 福男 小岩 文春
- 櫻井 美枝子

退任世話人

松戸 きよ子

新世話人
松戸 信三

講社大祭のご案内

来る十月六日(土)より八日(月)にかけて講社大祭を斎行いたします。

県内はもとより、全国各地の講員の方々が大神様に報恩の誠を捧げ、家内安全・商売繁盛を祈願します。

期間中は神楽が奉納され、境内は大勢の参拝者で賑わいます。

〈神楽奉納団体〉

- 六日 栗原市 栗原神楽
 - 七日 檉崎法印神楽保存会
 - 八日 塩竈神楽保存会
- (それぞれ午前九時より午後二時頃まで)



塩竈神楽 (塩竈市指定文化財)

鹽竈会総会

当社と御祭神を同じくする神社の集い「鹽竈会」では、去る六月十四日に愛知県名古屋市中区で総会が開催されました。

愛知県名古屋市中区鎮座の鹽竈神社(馬場克博宮司)を会場に十四名が出席、総会後は八事鹽竈神社(山田豊巳知宮司)を参拝したのち、蒲郡温泉に宿泊し親睦を深めました。

翌日は岡崎市鎮座の六所神社(大竹いつき宮司)を参拝、徳川園などを見学し解散となりました。

一森会総会

去る八月二十三日、当社神職養成所卒業生の同窓会である一森会(及川祐幸会長)の平成三十年度総会が社務所大講堂において開催されました。

三十名の出席者は正式参拝後、総会を滞りなく終え、松島「ホテル大観荘」へ移動し、当社神職を交え懇親会となりました。



社務所大講堂において

大社に奉仕し、斯道興隆のため活躍しています。

平成三十年度功労表彰者
大阪府羽曳野市
鹽竈神社正神神社葉山宮司)
氏子 田中 悦子 (敬称略)



名古屋市中川区の鹽竈神社において

参拝記録

六月から八月にかけて当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。(敬称略)

六月

- 二日 仙台千人講話人会 五名
- 三日 栃木県神社庁南那須氏子総代会 一八四名
- 七日 岩手県・紫波町四社連絡協議会 二十四名
- 九日 國學院大學神道研修事務部長 大野靖仁氏
- 十三日 國學院大學院友会副会長 今井亮氏
- 十九日 東京都・御嶽神社総代会 三十一名
- 二十二日 新潟県神社庁中蒲原支部 一一七名
- 二十八日 神奈川県・国府祭類社会 四名
- 二十九日 栃木県・矢板西農区 二十名
- 宮城県宗教学会連絡協議会 会長 近藤雅則氏他二名

七月

- 三日 埼玉県・笹目神社氏子総代会 十五名
- 五日 埼玉県神社庁入間東支部 二十名
- 六日 国際ロータリー第二五二〇地区 ガバナ― 田中堯史氏他七名
- 十二日 山形県・西村山神社総代会 五十八名
- 二十三日 愛知県神社庁参拝団 一九〇名
- 福島県・飯坂八幡神社「瑞垣会」 八名

八月

- 十七日 第三十二回初任神職研修会 十五名
- 二十三日 一森会 会長 及川祐幸氏他 二十八名
- 全国氏子青年協議会 前会長 鷹野尚志氏

ご結婚
おめでとう
ごさいます

六月

- 仙台市 庄司 崇志
- 秋田県 伊東 菜々子
- 福島県 小齊 誠
- 秋田県 伊藤 誓
- 塩竈市 及川 貴広
- 仙台市 工藤 真奈美
- 多賀城市 佐藤 太一
- 塩竈市 大山 琴乃
- 塩竈市 高橋 達
- 塩竈市 遠藤 ひとみ
- 塩竈市 後藤 孔希
- 登米市 佐藤 早絵
- 岩手県 千田 成一
- 仙台市 綿 景子
- 塩竈市 小野 圭亮
- 仙台市 森本 奈巳
- 仙台市 井出 孝典
- 仙台市 福井 亜里紗
- 北海道 大越 雄太
- 遠田郡 小野 加奈美

七月

- 塩竈市 澤山 達也
- 山形県 佐藤 桃江
- タイ王国 ジェーン・トンプラディット
- 大崎市 佃 実佳
- 塩竈市 阿部 雄太
- 黒川郡 金子 絵李香
- 福島県 草野 翔平
- 山形県 佐藤 知香
- 宮城郡 我妻 卓郎
- 福島県 船生 通代
- 塩竈市 天沼 崇文
- 中華人民共和国 呉 亮
- 多賀城市 大場 康之
- 福島県 伊藤 希望
- 仙台市 上ノ台 翼
- 富谷市 須川 京
- 兵庫県 藤本 佑介
- 仙台市 菊地 まゆみ

養成所通信

集約講義

当養成所は九月二日から四日にかけて、神道学博士の中西正幸氏をお迎えし、集約講義を開講いただきました。

國學院大學大学院・客員教授で、本社本庁の教学委員を務められる中西氏には、三日間の講義で神道の概説論から神職の使命にいたるまで御教授いただきました。

夏季神社実習

今夏、養成所の夏季休業に先立ち五日間の神務実習が実施されました。

受入先の各神社には格段の御高配をいただき、日頃とは異なる実習は生徒にとつて得がたい経験となったようです。

- 岩手県・駒形神社 (山下明宮司) 金澤 空
- 長野県・深志神社 (遠藤久芳宮司) 佐竹崇史
- 山形県・湯殿山神社 (澁谷宣寛宮司) 寺島成美
- 青森県・高山稻荷神社 (工藤均宮司) 山崎尚範
- 岩手県・櫻山神社 (坂本広行宮司) 細越大誉
- 岩手県・盛岡八幡宮 (藤原隆磨宮司) 八重樫 凜

